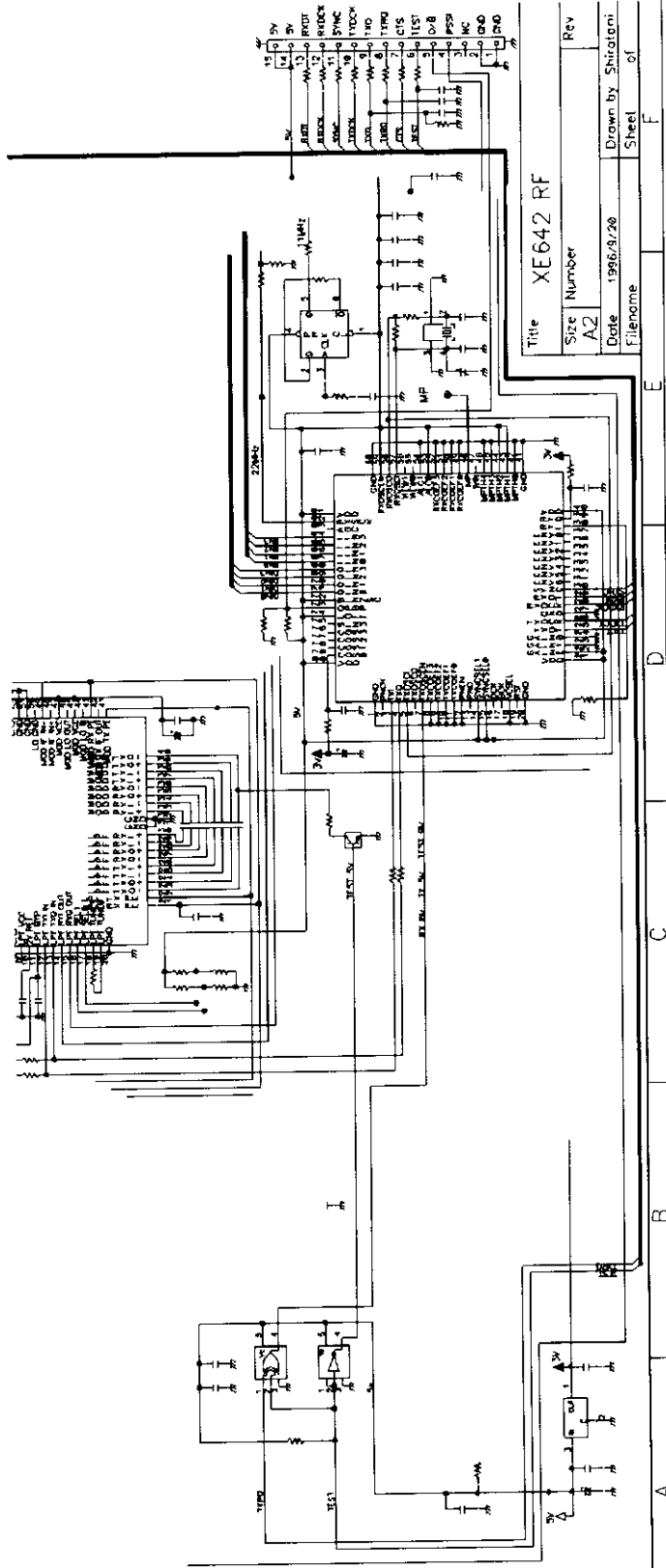




Title XE642 RF

Size Number

A2

Date

1996/9/20

Filename

Drawn by Shitani

Sheet

of

F

A

B

C

D

E

F

4. 送受信手順と回路の説明

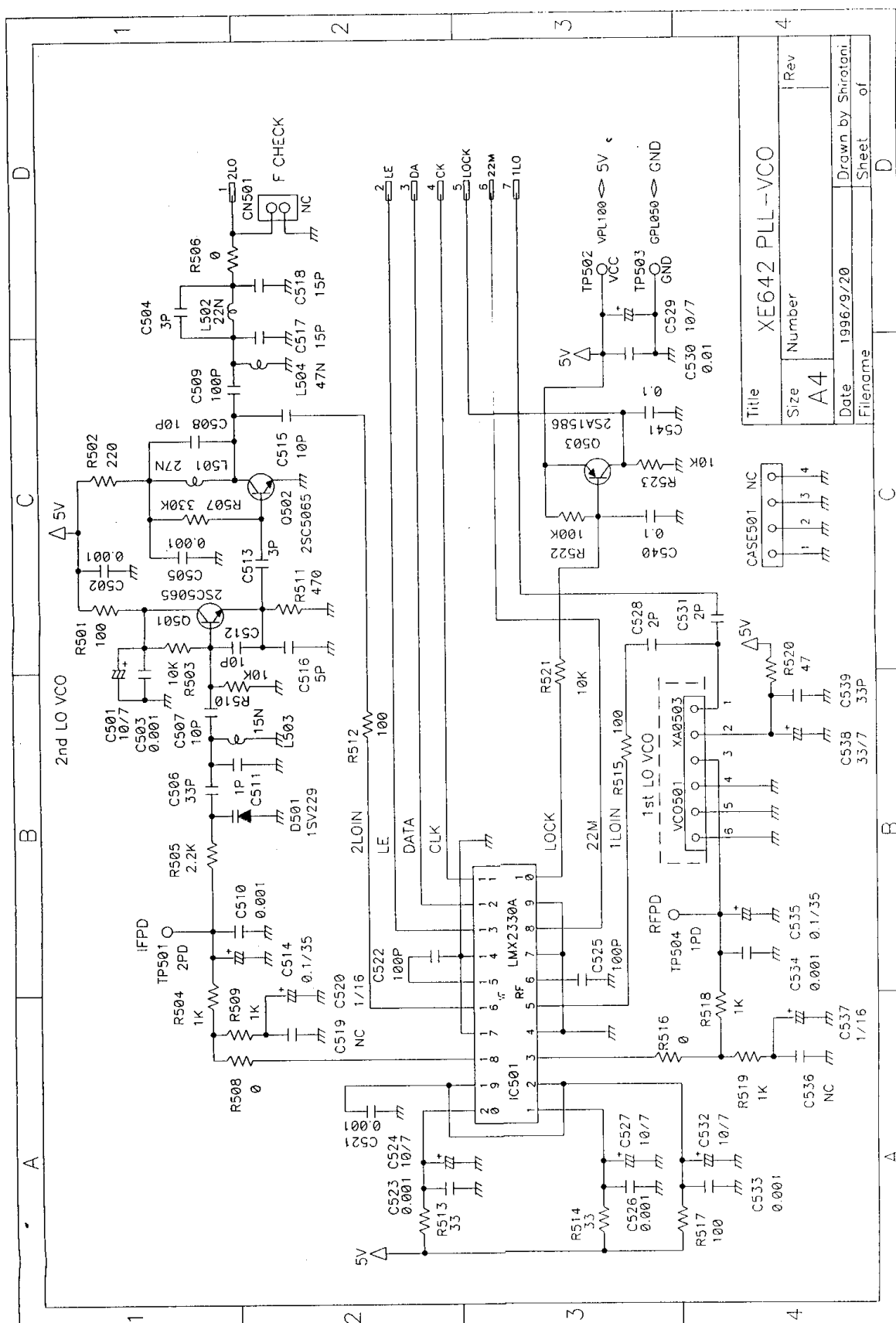
第 3 項で述べたように、スペクトル拡散を停止する機能は、製造上の検査のために設けているものであり、また、スペクトル拡散を停止した状態では情報変調も行うことはできない。これらのことから、スペクトル拡散を停止した状態で情報の通信が行えることは想定していない。

通常の実信は、インターフェース端子 CN2:TXRQ(8 ピン)を L にすることで行うことができる。

TXRQ 信号は、CPU:IC9 PIC16C63(21 ピン)に入力され、PLL のロックが確認された後、14 ピンを H にする。IC9 の 14 ピンは D-FF:IC10B のリセット 13 ピンに接続されており、H になることでリセットされ、送信データクロックが D-FF に入力されることで送受信制御電圧が切り替わり、送信状態となる、

一方、受信時は、D-FF:IC10B のリセット 13 ピンが CPU によって L になり受信状態を保持する。

以上



Title		XE642 PLL-VCO	
Size	Number	Rev	
A4			
Date	1996/9/20	Drawn by Shirohani	
Filename		Sheet	
		of	

CASE501		NC	
0	0	0	0
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

1st LO VCO		VC0501	
0	0	0	0
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

2nd LO VCO		VC0501	
0	0	0	0
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

